

# 栄 さかえ小 ニュースレター

## 5年生 宿泊学習



5年生が10月2日(水)・3日(木)の1泊2日で、さしま少年自然の家に宿泊学習に行きました。この宿泊学習では、様々な体験活動を通して、協力すること、責任を果たすこと、奉仕することの大切さを学ぶと共に、一緒に生活することで友達の更なる良さに気づき絆を深めることを目的としています。

1日目の午前中は、施設周辺を散策しながら「ビンゴオリエンテーリング」を楽しみました。地図を頼りに協力してチェックポイントを探しながらビンゴを完成させることができました。また、自然の景色も堪能できたようでした。午後は「焼き板作り」に挑戦しました。焼いた木の板をたわしを使って、光沢が出るまで磨くのが大変だったようですが、全員が個性あふれる素敵な焼き板を完成させることができました。夜はお待ちかねの「キャンプファイヤー」が行われました。火を囲んで歌を唄ったり、フォークダンスをしたりと、普段の教室とは違った自然の中での活動で、子供たちも笑い声が絶えない楽しいひと時を過ごしました。

2日目の活動では、うどん作りに挑戦しました。コシを出すために、生地を交代で踏みましたが、地道な作業は結構疲れたようです。しかし、みんなで協力して作ったうどんは特別な味がし、普段の食事とは違う達成感を味わうことができました。

この宿泊学習を通して、子供たちは自然の中での活動を楽しむだけでなく、仲間と協力することの大切さや、自分たちで何かを成し遂げる喜びを感じることができました。素晴らしい2日間の思い出となりました。



出発式を済ませ、宿泊学習にいざ出発！みんな良い笑顔をしています。6年生の児童がバスのお見送りをしてくれました。



さしま少年自然の家に到着！早速、入所式を行いました。みんな良い姿勢で所員の方の話を聞いていました。

最初の活動はビンゴオリエンテーリングでした。迷いながらもグループで協力し、ポストを見つけることができました。



1日目の午後は焼き板作りに挑戦しました。磨いた焼き板に絵や文字を描き、世界に一つの壁飾りができました。

昼食はグループになって、お家の人が作ってくれたお弁当をおいしくいただきました。



普段は目にしない大きな炎に躍動感を感じたり、消えていく炎と共に、夜の静けさを感じたりすることができました。

うどん作りを行いました。飯盒炊飯と違って失敗は少ないので、みんな無事に昼食が食べられたようです。